

熱 砂

創立40周年に向けて — 新しい挑戦をはじめましょう! —

校長 山本 昭比古

来年、ドバイ日本人学校は創立39周年を迎えます。再来年の7月には40周年記念式典を開催いたします。来年から40周年に向けて少しずつ準備も始まります。

本校の創立前は、アジュマン首長国に日本語補習校があり、そこで日本の子どもたちは週1、2回程度通って勉強をしていました。その後、その補習校が母体となって、1980年4月、今から39年前に、ドバイ日本人学校は誕生しました。当時は、児童生徒数は33名、先生方はわずか4名でした。学校の場所はどこではなく、ドバイニューホスピタルの近くのハマリア地区にあり校庭も体育館もありませんでした。運動会は外の施設を借りて行っていたようです。

そして、その7年後、1987年12月に、現在の校舎へ移転しました。引越は資金がないので業者を使わず、保護者、理事会、日本人会、教職員の方々総出で何日もかけて行いました。以来、約30年間、児童生徒数が増加した2006年に教室を増設し、幼稚園の開設や校舎の老朽化に伴い約5年前から増改築やリフォームが進められてきました。

その間、本校の卒業生は小中あわせて約440名となり、転出者は卒業生を大きく上回る人数となっています。創立10周年は中東の湾岸戦争で残念ながら中止となりましたが、20周年、30周年式典は児童生徒のみなさんとともに祝いすることができました。その20周年のときに、いまでも歌い継がれている、本校の愛唱歌「君といっしょに」がつくられました。

当時の子どもたちの声を紹介します。

「私たちの日本人学校には体育館も校庭もない。外へ出かけて運動をした。『とても暑かった』。校舎は2階建ての古いアパート。よくみんなの声が響いた。先生も3人。でも、みんな楽しく学校生活を送った。」
これは旧校舎で学んだ小学生の人です。いまでは、40歳くらいになっているでしょうか。

次の人は当時小学6年生の人です。

「私はDJSに通うのが毎日楽しみです。私は日本にいるときはあまり学校がすきではありませんでした。けれど、DJSに来て一人一人の友だちがとてもやさしく毎日が楽しくなりました。みんな仲良しです。私はDJSを誇りに思っています。」

最後に中学生の人です。

「ドバイ日本人学校は小学生から中学生まで家族みたいな学校です。暑さに負けず、笑顔があふれている。ここでたくさん思い出ができた。すてきな宝物をもらった。ドバイ日本人学校に感謝したい。」

多くの卒業生、先輩の人たちは、限られた環境の中で、精一杯、がんばってきました。そして、すこしずつ、学校施設や教育環境がよくなってきました。

いま、私たちは、先人や先輩の方々のご苦勞に感謝し、次の10年に向けて、よりよい学校、よりよい伝統や歴史をつくっていく必要があります。そのためには、一人一人が、ここドバイ日本人学校で学べることを誇りとし、自分なりの新しい挑戦をはじめていくことが大切だと思います。「挑戦なくして成長なし」です。そして、一人一人の成長をもって40周年を飾っていきましょう。

12月のトピックス

第39回海外子女文芸作品コンクール審査結果発表

海外子女教育振興財団主催の第39回海外子女文芸作品コンクールの審査結果が発表されました。このコンクールは海外に在住する小・中学生が言語・風習・気候風土・治安など、日本と異なる生活環境のなかで感じ、考え、感動したことを日本語で表現することを促すために、1979年から毎年行われています。ドバイ日本人学校からはG3リン三樹くん（読売新聞社賞）、G6國兼みのりさん（佳作）が選ばれました。おめでとうございます。

【読売新聞社賞】

ハウセンカ ドバイのあつさにまけるなよ 小さなふたばに一人つぶやく

ドバイ日本人学校 G3 リン三樹

アラビア語集会

12月9日（日）に、アラビア語集会を行いました。国際交流委員が司会を進行し、G7が劇を披露しました。劇の題名は「4つの季節」。四季の中でどれがいちばん美しいかを決めるために、討論をして歌い合うという内容でした。楽しくアラビア語に親しむことができました。



冬休みの生活について

本日で2学期が終わり、明日から冬休みとなります。たくさんの活動を通して児童生徒たちは実りの多い2学期を過ごすことができました。これまでの生活や学習を振り返りながら、3学期からの学校生活に見通しが持てるように、ご家庭でもお声掛けいただければ幸いです。また、冬休みは新しい学年に向けての準備の時間でもあります。ご家族との時間を大切にしながら充実した毎日をご過ごしていただければと思います。

保護者の皆様におかれましては、この2学期間の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。3学期は運動会やミナレ発表会などがございます。これまで同様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、冬休み中の連絡先は以下のとおりです。万が一の場合には、緊急連絡先もご参照ください。

《連絡先》



【通常】 04-344-9119（職員室）

【緊急】 050-655-3828（校長・山本）

050-459-2918（教頭・白木）

052-788-2865（教務主任・遠藤）